

令和7年度 京都市市民憲章 推進テーマ(スローガン)及び 実践目標

令和7年度の推進テーマ (スローガン)

京都が培ってきた大切な文化を、
京都に関わるすべての人と共に未来へつなごう

実践目標・行動例

(実践目標1) 自然やまちの美観を守り、緑豊かな美しいまちにしましょう。

【行動例】

- 日常的な門掃きを心掛ける
- まちの美観を損ねる違反ビラや看板等を出さない・出させない
- 身近な公園や街路樹などの花や緑を育てる
- 自転車の放置やごみの不法投棄をしない・させない
- 路上喫煙や吸殻等のポイ捨てをしない・させない
- 収集場所にネットを設置するなどごみの散乱防止に努める

(実践目標2) 地球の未来を守るため、環境にやさしい身近な取組から実践しましょう。

【行動例】

- ごみの分別の徹底など、ごみ出しのルールを守る
- コミュニティ回収など、地域の集団回収を利用し、古紙類や古着類、使用済てんぷら油などの回収・リサイクルに協力する
- 資源物回収拠点を利用し、小型家電など資源物の回収・リサイクルに協力する
- 手付かず食品や食べ残しなどの「食品ロス」をなくす
- マイバッグ、マイボトル、リユース食器などのエコグッズを使用し、ペットボトルや使い捨てプラスチックの削減に努める
- 使いキリ、食べキリ、水キリの「生ごみの3キリ運動」を広げる
- 急発進・急加速をしないなどエコドライブを実践する
- 太陽光発電システムなど、創エネ・省エネ設備を導入する
- クルマの使用を控え、公共交通機関(市バス・地下鉄など)や自転車(シェアサイクル、レンタサイクルを含む)を利用する
- 冷暖房は、適正な室温管理の範囲で活用するなど、節電を心掛ける

(実践目標3) 多様な人との交流やつながりを大切にし、誰もがいきいきと暮らし、支え合うまちをきずきましょう。

【行動例】

- 笑顔であいさつをする、町内会に参加するなど地域とのつながりを常日頃から大切にする
- 地蔵盆など、地域の行事に家族や地域の方と参加する
- 地域の行事やイベントにボランティアとして参加するなど、様々な世代や地域・国籍の人との交流を深め、誰もが暮らしやすい環境をつくる
- 子育て世代、お年寄りや障害のある方、生きづらさを抱えた方などを地域の人々で支える
- 健康寿命を伸ばすため自発的に健康づくりに取り組む
- 自転車に乗るときはヘルメット着用を努め、交通ルールやマナーを守って運転する
- 交通ルールの啓発活動、登下校時の児童への声掛けなど子どもを見守る
- 災害を想定し、3日以上の食料や生活必需品を備蓄する
- 家具の固定など、すまいの地震対策を進める
- 住宅用火災警報器、電気機器の点検・設置、使用時以外はプラグを抜き、たこ足配線は行わないなど、火災予防に努める
- 宅配便の再配達を減らすため、宅配ボックス等を積極的に利用する
- 飲食店や施設を利用する際は、なるべく事前予約を利用する

(実践目標4) 世界に誇る京都の文化や伝統を大切に守り伝えましょう。

【行動例】

- 有形・無形の文化遺産や伝統に触れ、京都の歴史への理解を深める
- 花を活ける、お茶を点てる、伝統文化・伝統芸能等を鑑賞するなど暮らしの中で文化を楽しむ
- 日常生活の中に伝統産業製品を取り入れる
- 大切にしてきたくらしの知恵や地域の慣例・慣行を次の世代に伝える
- 伝統行事のボランティアに参加するなど、文化財の保存活動に積極的に協力する

(実践目標5) 旅行者との心の触れ合いを大切にし、京都ならではの「おもてなし」を実践しましょう。

【行動例】

- 異文化に触れ、様々な国の文化への理解を深める
- 観光客にあいさつや道案内を積極的に言い、困っている観光客を見かけたら声を掛ける
- 京都の文化・習慣を国内外から訪れる人に伝え、市民生活と調和した行動を促す

<観光客の方に促す行動例>

- ・ エコバック、マイボトルを持参することで、環境に配慮した観光を行ってもらう
- ・ 人が多い日中ではなく、人が少ない早朝に社寺拝観を行う等、混雑を避けることで、静寂の中、じっくりと京都の魅力に触れてもらう
- ・ 公共交通機関（市バス・地下鉄など）を上手に組み合わせて混雑を避けてもらう
- ・ 大きな荷物は、宿泊施設まで荷物を運ぶサービスを利用し、周りに迷惑を掛けず、スマートに散策してもらう

- 文化財の奥深い魅力や大切さはもちろん、歴史や文化財保護など、目では見えない情報も学び、今日まで在る理由を後世につないでもらう
- 持ち帰るお土産は、歴史や職人、文化を知った上で購入し、秘められた文化や思いについての説明を添えて渡してもらおう